



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社QDレーザ 上場取引所 東
 コード番号 6613 URL https://www.qdlaser.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)菅原 充
 問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)幸野谷 信次 (TEL)044(333)3338
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	605	—	△493	—	△537	—	△699	—
2020年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△27.83	—
2020年3月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は2020年3月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年3月期第3四半期の数値及び2021年3月期第3四半期における対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、2020年12月31日において当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,901	1,030	54.2
2020年3月期	2,919	1,729	59.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,030百万円 2020年3月期 1,729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	974	28.7	△688	—	△740	—	△904	—	△33.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	25,132,380株	2020年3月期	25,132,380株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	—株	2020年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	25,132,380株	2020年3月期3Q	—株

(注) 1. 当社は2020年3月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年3月期第3四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、世界規模での新型コロナウイルス感染症の拡大が継続し、消費や投資が大きく落ち込み、先行き不透明な状況が続いております。

当社に関連する主な市場の状況について、レーザデバイス事業の分野では精密加工用、センサ用ともに比較的堅調に推移しました。レーザアイウェア事業の分野では眼鏡店が新型コロナウイルス感染症対策に伴う休業等の影響を受け、主に個人向けで需要が低迷しました。

このような状況の中、当社ではテレワークやオフピーク出社の積極的な活用により、新型コロナウイルス感染症対策と生産性の維持の両立を図り、「人の可能性を照らせ。」のコーポレートスローガンのもと、製品の開発・販売を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は605,541千円、レーザアイウェア事業立ち上げ途上のために開発費を中心に固定費負担が依然大きく、営業損失は493,676千円、経常損失は537,249千円、四半期純損失は699,671千円となりました。

セグメントごとの経営成績は次の通りであります。

a. レーザデバイス事業

当第3四半期累計期間におきましては精密加工用レーザ、センサ用赤色レーザ及び開発受託の受注が増加した一方、シリコンフォトニクスを含む通信用レーザの受注が減少しました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は571,814千円、セグメント損失は15,812千円となりました。

b. レーザアイウェア事業

当第3四半期累計期間におきましては新型コロナウイルス感染症対策に伴う海外渡航制限や眼鏡店等の休業等の影響を受け、民生用網膜走査型レーザアイウェアの受注が減少しました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は33,727千円、セグメント損失は309,534千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末から1,017,932千円減少し、1,901,432千円となりました。流動資産は1,594,420千円となり、前事業年度末から809,705千円減少しております。これは主に四半期純損失の計上により現金及び預金が925,285千円減少した一方、レーザアイウェアの今後の販売に向けた部材調達により原材料及び貯蔵品が111,604千円増加したこと等によるものであります。固定資産は307,011千円となり、前事業年度末から208,226千円減少しております。これは主に減価償却及び減損損失により有形固定資産が198,348千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は前事業年度末から318,260千円減少し、871,404千円となりました。流動負債は608,641千円となり、前事業年度末から142,094千円減少しております。これは主に仕入代金決済により買掛金が82,604千円、試作用外注費等決済により未払金が132,500千円減少した一方、1年内返済予定の長期借入金が83,320千円増加したこと等によるものであります。固定負債は262,762千円となり、前事業年度末から176,166千円減少しております。これは主に長期借入金が返済及び1年内返済予定の長期借入金への振替により171,976千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は前事業年度末から699,671千円減少し、1,030,028千円となりました。これは利益剰余金が四半期純損失の計上により699,671千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2021年2月5日公表「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,464,175	538,890
売掛金	197,615	220,854
商品及び製品	280,129	287,567
仕掛品	84,110	118,333
原材料及び貯蔵品	237,568	349,173
前払費用	7,296	19,959
未収入金	133,029	56,918
その他	200	2,722
流動資産合計	2,404,125	1,594,420
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	215,759	196,783
機械及び装置(純額)	125,400	61,812
工具、器具及び備品(純額)	120,354	6,110
リース資産(純額)	6,274	4,734
有形固定資産合計	467,790	269,441
無形固定資産		
商標権	2,979	2,675
ソフトウェア	14,712	5,773
リース資産	4,282	3,294
無形固定資産合計	21,975	11,743
投資その他の資産		
関係会社株式	3,372	3,372
その他	22,101	22,455
投資その他の資産合計	25,473	25,827
固定資産合計	515,238	307,011
資産合計	2,919,364	1,901,432

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	195,038	112,434
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	174,644	257,964
リース債務	3,625	3,713
未払金	205,123	72,623
未払費用	5,288	11,300
未払法人税等	3,110	2,230
賞与引当金	58,988	32,662
預り金	4,084	8,564
その他	832	7,148
流動負債合計	750,735	608,641
固定負債		
長期借入金	365,356	193,380
リース債務	8,100	5,303
繰延税金負債	5,852	4,762
資産除去債務	59,620	59,316
固定負債合計	438,929	262,762
負債合計	1,189,664	871,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	763,310	763,310
資本剰余金	3,247,082	3,247,082
利益剰余金	△2,280,692	△2,980,364
株主資本合計	1,729,699	1,030,028
純資産合計	1,729,699	1,030,028
負債純資産合計	2,919,364	1,901,432

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	605,541
売上原価	398,538
売上総利益	207,003
販売費及び一般管理費	700,679
営業損失(△)	△493,676
営業外収益	
受取利息	239
スクラップ売却益	328
その他	274
営業外収益合計	842
営業外費用	
支払利息	4,131
為替差損	26,417
その他	13,866
営業外費用合計	44,415
経常損失(△)	△537,249
特別損失	
減損損失	161,282
特別損失合計	161,282
税引前四半期純損失(△)	△698,531
法人税、住民税及び事業税	2,230
法人税等調整額	△1,089
法人税等合計	1,140
四半期純損失(△)	△699,671

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	レーザデバイス 事業	レーザアイウェア 事業	計		
売上高					
外部顧客 への売上高	571,814	33,727	605,541	—	605,541
計	571,814	33,727	605,541	—	605,541
セグメント損失 (△)	△15,812	△309,534	△325,346	△168,329	△493,676

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△168,329千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△168,329千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

レーザアイウェア事業セグメントの固定資産及び貯蔵品において、想定していた収益が資産グループの想定耐用年数期間内に見込まれなくなり回収可能性が低下したため、減損損失を認識しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において161,282千円であります。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて

新型コロナウイルス感染症により、卸売先の眼鏡店での一部店舗の臨時休業、国外での営業活動の制限が発生しております。このような状況の中、新型コロナウイルス感染症の影響については会計上の参考となる前例がなく、今後の広がり方や終息時期については統一的な見解がないため、今後の当社への影響を予測することは極めて困難ではありますが、ある一定の仮定に基づいて固定資産の減損テストの判定、貸倒引当金の影響の有無等の会計上の見積りを実施し、会計処理に反映しております。なお、一定の仮定としては国内および海外の当社の市場となる大半の地域の事業は第2四半期以降より新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで緩やかに業績の回復が始まるものとしておりましたが、今年度中は現在のような状況が継続し、翌事業年度以降に徐々に回復が始まるものと感染状況の仮定を変更し、見積りを実施いたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動への影響については不確定要素が多く、上記の仮定に状況変化が生じた場合には、当社の財政状態及び経営成績に少なからず影響を及ぼす可能性があります。

(重要な後発事象)

1. 公募による新株式の発行

当社は、2021年2月5日付で東京証券取引所マザーズへ上場いたしました。当社は上場にあたり、2020年12月28日及び2021年1月20日開催の取締役会において、新株式の発行を決議し、2021年2月4日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は2,242,753千円、発行済株式総数34,584,180株となっております。

(1)募集株式の種類及び数	当社普通株式 9,451,800株
(2)発行価格	1株につき340円
(3)引受価額	1株につき313.05円
(4)払込期日	2021年2月4日
(5)資本組入額	1株につき156.525円
(6)発行価格の総額	3,213,612千円
(7)引受価額の総額	2,958,885千円
(8)資本組入額の総額	増加した資本金の額 1,479,442千円 増加した資本準備金の額 1,479,442千円
(9)募集方法	一般募集（ブックビルディング方式による募集）
(10)資金の用途	以下の内容で充当する予定であります。 レーザアイウェアの製造費用